

月刊 星空の散歩道 7月号

2025年

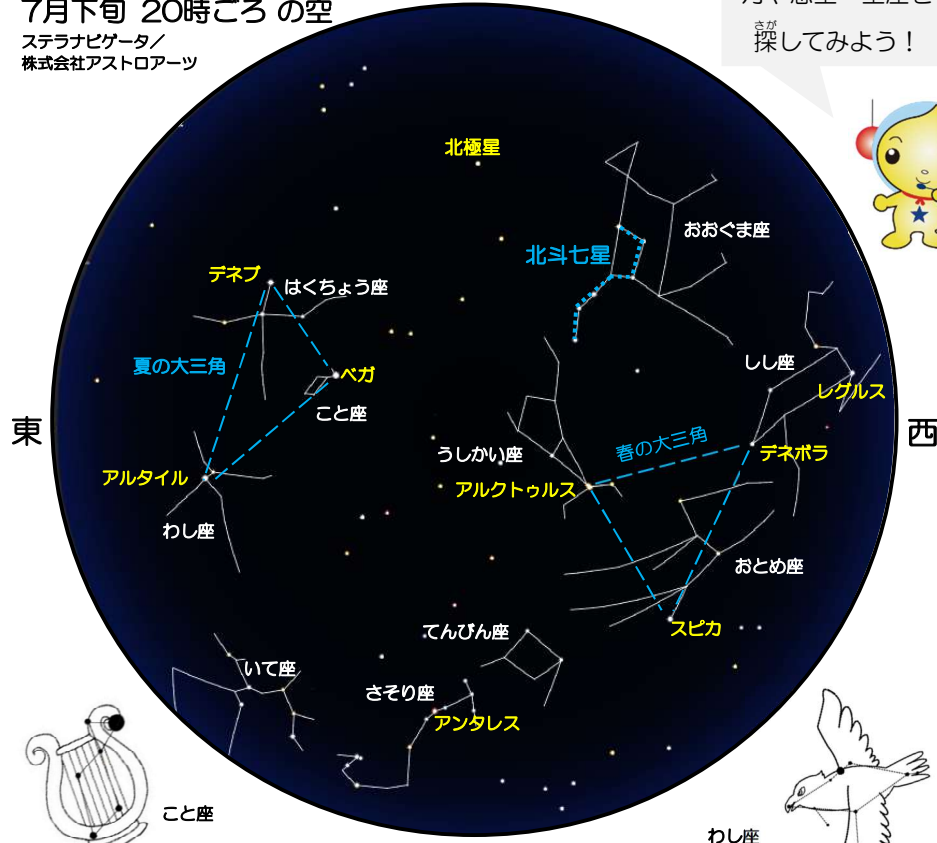
7月上旬 21時ごろ

7月下旬 20時ごろの空

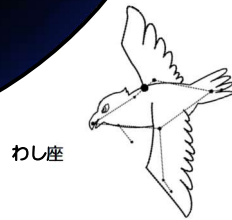
ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

北

つき 月や惑星・星座を
さが 探してみよう！



こと座



わし座

7月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に春の星座が、南の空と東の空に夏の星座が見えています。

- < 西 > しし座 (レグルス、デネボラ)、おとめ座 (スピカ)
- < 天頂 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 南 > さそり座 (アンタレス)
- < 東 > こと座 (ベガ)、わし座 (アルタイル)、はくちょう座 (デネブ)
- < 北 > 北極星、おおぐま座

☆天文トピック☆

7月 7日 七夕

日本ではこと座の「ベガ」を織姫星、わし座の「アルタイル」を彦星として親しんでいました。夏の大きな星も見つけてみましょう。

7月 31日 月の近くにスピカが見える

月とスピカ (天文コラム参照) がとても近づく見えます。月を目印にを探してみましょう。

☆月の形の変化☆

7月 3日 上弦
7月 11日 満月
7月 18日 下弦
7月 25日 新月

☆7月の惑星☆

火星…日没後、西の空低く
土星…真夜中、東の空
金星…明け方、東の空

<天文コラム> 空に輝くスピカとその語源

おとめ座の一等星スピカが宵の空に見られる時期は、夏の収穫期と重なります。昔の人々はスピカの出現を収穫の目安としていたと考えられています。古代の人々は空を見上げ、星々から季節の移り変わりを感じ取っていました。

この「スピカ (Spica)」という名前は、ラテン語の spica に由来し、「穂」、特に「小麦の穂先」を意味します。おとめ座は古代から豊穡の女神に重ねられており、スピカはその手に持った穂を象徴する星とされてきました。スピカと同じ語源から生まれた言葉に「スパイク (spike)」があります。いずれも、もともとは「植物の穂先」のように細く尖った形を表していました。そのイメージが広がり、「スパイク」は現代英語で「尖った釘」や「突起物」などを意味する言葉として定着しています。



同じ語源から派生した言葉が、私たちの暮らしの中にある道具の名前として、また空に輝く星の名前として受け継がれてきました。名前の由来に思いを馳せながら、今夜は空を見上げ、白く輝くスピカを探してみませんか。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2025年6月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

